



務成物聞

No.1

「児童の生活に関する調査」結果について

保護者の皆様にご協力いただきました調査について、ご報告いたします。20項目について、児童と保護者に質問をしました。結果は、以下の通りです。この結果を真摯に受け止め、今後とも児童一人一人を大切にされた教育活動を推進してまいります。（％）

	項目	児童				保護者			
		A	B	C	D	A	B	C	D
1	学校の教育目標等知っている	60.88	30.94	5.78	2.39	26.08	47.39	18.82	7.71
2	うれしかったことを話す	64.81	26.84	6.36	1.98	70.05	27.03	2.48	0.45
3	家で計画を立てて学習	40.24	38.05	15.94	5.77	25.45	42.12	23.87	8.55
4	安全に登下校	81.47	17.53	0.79	0.19	59.23	36.71	3.64	0.45
5	家で読書	48.71	30.82	12.13	8.35	30.72	33.18	26.68	9.41
6	家で仕事(手伝い)	48.01	32.27	10.56	9.16	30.58	34.15	26.56	8.70
7	あいさつ・言葉づかい	51.29	37.77	9.74	1.19	28.6	51.58	17.34	2.47
8	自分の考えを伝える	32.47	48.61	14.74	4.18	23.82	46.74	24.94	4.49
9	将来の仕事や夢を話す	56.46	19.28	15.11	9.14	36.47	40.94	17.9	4.69
10	健康・体力づくりのために運動	55.8	32.2	8.2	3.8	46.07	31.01	16.4	6.51
11	寝る時間・起きる時間	34.19	35.19	17.69	12.9	46.52	41.57	10.11	1.79
12	好ききらいなく食べる	48.5	32.93	11.58	6.98	37.22	39.01	19.28	4.48
13	はし、えんぴつ	53.29	30.54	10.78	5.38	32.73	37.92	23.93	5.41
14	ゲーム等のルール	53.57	21.83	12.7	11.9	38.96	40.77	16.44	3.82
15	整理整頓	40.84	38.84	15.14	5.17	16.33	34.9	35.35	13.42
16	家に帰る時刻を守る	80.08	16.53	1.99	1.39	61.54	28.28	8.14	2.03
17	両親、祖父母を大切に	81.3	17.07	1.01	0.61	71.46	26.52	2.02	0
18	地域の行事に参加	42.94	35.39	13.12	8.54	42.21	41.76	13.09	2.93
19	難しいことも挑戦	46.61	40.24	10.36	2.78	25.34	48.65	21.97	4.03
20	学校楽しい	71.06	21.16	5.78	1.99	74.38	23.37	1.57	0.67

< A : はい、 B : どちらかと言えば はい、 C : どちらかと言えば いいえ、 D : いいえ >

(1) 児童・保護者・教員の評価がほぼ同じ割合の項目

「2 うれしかったことを話す」 「17 両親、祖父母を大切に」 「20 学校楽しい」

「2 うれしかったことや楽しかったことを話す」の項目では、児童・保護者・教員共に「A・B」の回答が9割以上となり、家庭・学校共に児童との良好な関係が伺えます。これは、児童の日常生活でも顕著であり、友達との交友関係も穏やかで、それが学習面でも生かされています。身近な温かい会話や、目の前の人を大切にする本校児童の良さが今回の結果として表れ、「学校が楽しい」という評価につながっていると考えます。

(2) 児童・保護者の評価より教員の評価が特に低い項目

「8 自分の考えを伝える」 「9 将来の仕事・夢を話す」 「12 好ききらいなく食べる」 「13 はし、えんぴつ(を正しく持つ)」 「15 整理整頓」 「18 地域の行事に参加」

本校は郡山市教育委員会研究推進協力校として「伝え合う力を育てる」を研究主題として、児童一人一人のための授業改善を目指しています。また、心の教育や道徳教育にも力を入れています。その成果が着実に表れていますが、教員としては、さらに高い目標を持って努力を続けてまいります。

「好き嫌いなく食べる」「はし、えんぴつ」「整理整頓」「地域行事に参加」については、家庭との連携が大切です。特に、「はし、えんぴつ」の持ち方については、正しく持てる児童が少ないのが現状です。これは、視力・体の歪み等健康面だけでなく、学習の遅れにも影響します。保護者の皆様と共に今後とも指導を継続したいと考えます。

「地域の行事」について、地域との連携は今後ますます重要になってきます。今年度は「開成寺子屋」をはじめ、地域での活動を充実してきました。今後も、関係機関との連携を深めて進めていきます。

(3) 児童の評価より保護者の評価が高い項目

「11 寝る時間、起きる時間」

今年度の全国学習状況調査（6年生のみ）の同様の質問では、本校児童が、全国平均より低い評価でした。アンケート調査は、一般的に児童の評価より保護者の評価が低くなり、「自己評価が甘く、保護者は厳しく評価」となりますが、この項目はその逆となっています。

また、「14 ゲーム等のルール」では、昨年度より保護者の評価が低くなっています。このことは、家庭内でルールがなくなってきたとも考えられます。前述の全国調査でも、本校児童は、全国平均よりテレビやビデオ、ゲーム等の時間が多いことが分かりました。

計画的に学習を続け、規則正しい生活ができるよう、今後とも指導を継続していきます。

(4) 児童の評価より保護者の評価が特に低い項目

「3 計画を立てて学習」 「4 安全に登下校」 「7 あいさつ、言葉遣い」 「16 家に帰る時刻を守る」

児童の安心・安全な環境づくりは学校教育の基盤となるものです。安全な登下校や帰宅時刻を守ることは、その基本となります。その上で、学習習慣やあいさつ等の生活習慣を改めることが大切です。児童が、より高い目標を持って生活できるよう指導したいと考えます。

(5) 昨年度より評価が高くなった（微増）項目

「1 学校の教育目標（を知っている）」 「4 安全に登下校」 「10 健康・体力づくりのために運動」 「12 好き嫌いなく食べる」 「13 はし、えんぴつ」 「15 整理整頓」 「17 両親、祖父母を大切に」

本校は、「開物成務」（人間が本来持っている力を発揮し、いろいろな問題を解明し、物事を立派に完成させること）を建学の精神とし「鍛えよ心と体」を合言葉に「知・徳・体」の調和のとれた児童の育成を目標としています。その良さが各分野で生かされ、児童が大活躍をしていることがわかります。

体力づくりについては、運動の場や機会の確保等、関係機関のご支援・ご協力により、充実した教育活動を進めています。しかし、体力調査によると、大きな課題があります。特に握力、走力については、重要課題となっています。食育や身近な生活指導と合わせ、今後とも、家庭・学校・地域が連携を深めながら、体力向上に努めてまいります。

<ご協力、本当にありがとうございました。>